



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場会社名 高松機械工業株式会社  
 コード番号 6155 URL http://www.takamaz.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高松 喜与志  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)溝口 清  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (TEL)076-274-0123(代表)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,785	24.7	724	121.6	790	69.4	502	66.2
26年3月期第3四半期	10,253	△8.5	326	△62.3	466	△50.9	302	△54.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 565百万円(14.6%) 26年3月期第3四半期 493百万円(△24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	45.82	45.75
26年3月期第3四半期	27.75	27.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	18,592	10,606	57.0
26年3月期	17,845	10,241	57.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 10,603百万円 26年3月期 10,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
27年3月期	—	5.00	—		
27年3月期(予想)				10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,076	24.5	1,430	94.0	1,564	72.8	1,059	142.4	97.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	11,020,000株	26年3月期	11,020,000株
27年3月期3Q	28,629株	26年3月期	110,629株
27年3月期3Q	10,967,963株	26年3月期3Q	10,898,531株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復を続ける中で、長引いていた消費税増税による駆け込み需要の反動も和らぎはじまりましたが、ヨーロッパ経済の停滞懸念や新興国の経済状況の鈍化懸念が国内景気を下押しするリスクとして存在し、先行きの見通しは不透明な状況で推移してきました。

工作機械業界におきましては、国内では補助金等の政策が設備投資を後押しし、海外では円安の追い風の中で北米の好調さやヨーロッパ・アジアの回復が需要をけん引してきました。年間を通じて需要は落ち込むことなく高水準で推移し、平成26年4月から12月の業界受注総額は1兆1,786億円(前年同期比34.8%増)となりました。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は127億85百万円と、前年同期に比べ25億31百万円(24.7%増)の増収となり、営業利益は7億24百万円(前年同期比121.6%増)、経常利益は7億90百万円(同69.4%増)、四半期純利益は5億2百万円(同66.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 工作機械事業

工作機械事業におきましては、日系ユーザの進出や経済回復・成長によって需要拡大が見込まれる海外市場への対応強化をはかり、積極的な営業活動と迅速なサービス・メンテナンスの提供を推進するとともに、生産の最適化及び効率化による増産に取り組んできました。

中国、タイ及びインドネシアでは、多くのディーラーやユーザを招待したプライベート・ショーを開催することで、タカマツブランドの浸透と評価向上に努めてきました。中国では、現地で工作機械を生産する関連会社の杭州友嘉高松機械有限公司が設立10周年記念プライベート・ショーを開催し、現地販売子会社の喜志高松機械(杭州)有限公司も協賛することで、友嘉高松製品や当社製品を紹介しました。

アメリカ及びメキシコでは、自動車関連を中心に好調な市場にて販路拡大とタイムリーな情報収集に努めてきました。

ヨーロッパでは、需要の回復に対応して展示会などで新製品や技術をアピールし、引合・受注の確保に努めてきました。

国内では、大手ユーザだけでなく、設備投資意欲が回復してきた中小ユーザに対しても、最適な加工方法と自動化ラインや新製品を積極的に提案し、受注獲得をはかってきました。

生産におきましては、組立ラインの見直しや設計・加工等の効果的な外注化を進め、好調な受注に対応して増産をはかってきました。平成26年11月には精密加工室の移設・拡張工事を完了し、旧精密加工室をショールームとして整備するとともに、マシニングセンタ等の新規導入を進めてきました。

研究開発におきましては、平成26年7月に第44回機械工業デザイン賞において「審査員会特別賞」を受賞した「XW-130」に、ニーズが高かった複合加工機能を追加搭載した「XW-130M」を製品化し、同年10月に開催されたJIMTOF2014にて発表しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における工作機械受注高は、109億51百万円(前年同期比8.9%増)となり、工作機械受注残高は75億44百万円(同20.3%増)となりました。

売上高におきましては、116億74百万円(同29.1%増)となり、その内訳は、内需59億82百万円(同41.8%増)、外需56億92百万円(同18.0%増)、外需比率48.8%(前年同期は53.4%)であります。また、営業利益は7億66百万円(前年同期比157.9%増)となりました。

## ② IT関連製造装置事業

IT関連製造装置事業におきましては、売上高の確保のために積極的な営業活動による幅広い情報収集と新規分野の市場開拓をはかってきましたが、期待される需要回復に遅れが生じ、需要は低い水準で推移してきました。

この結果、売上高は5億24百万円(前年同期比11.2%減)となり、営業損失は22百万円(前年同期は4百万円の営業損失)となりました。

## ③ 自動車部品加工事業

自動車部品加工事業におきましては、主要取引先から安定的な受注があったものの、当初見通しよりも下回って推移してきました。このような状況の中で今後の売上増加をはかるため、先行投資による生産体制の強化、積極的な営業活動による新規受注の獲得及び新規取引先の開拓を推進してきました。

この結果、売上高は5億86百万円(前年同期比5.3%減)となり、営業損失は19百万円(前年同期は34百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は185億92百万円となり、前連結会計年度末に比べて、7億46百万円増加しました。

その主な要因としましては、現金及び預金が6億83百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が6億60百万円、たな卸資産が8億38百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は79億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて、3億82百万円増加しました。

その主な要因としましては、賞与引当金が1億円、未払法人税等が1億88百万円、長期借入金が1億64百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が6億37百万円、退職給付に係る負債が1億50百万円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は106億6百万円となり、前連結会計年度末に比べて、3億64百万円増加しました。

その主な要因としましては、利益剰余金が2億78百万円増加したことによるものです。なお、自己資本比率は57.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1億59百万円増加し、利益剰余金が1億3百万円減少しております。

また、この改正による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,700	3,017
受取手形及び売掛金	5,366	6,026
商品及び製品	414	977
仕掛品	959	1,076
原材料及び貯蔵品	811	968
その他	511	352
貸倒引当金	△5	△12
流動資産合計	11,758	12,407
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,496	1,502
土地	2,287	2,287
その他(純額)	740	796
有形固定資産合計	4,524	4,586
無形固定資産	204	170
投資その他の資産		
その他	1,360	1,464
貸倒引当金	△1	△35
投資その他の資産合計	1,359	1,428
固定資産合計	6,087	6,185
資産合計	17,845	18,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,650	4,288
短期借入金	948	948
未払法人税等	261	72
賞与引当金	174	73
役員賞与引当金	31	27
製品保証引当金	29	33
その他	601	687
流動負債合計	5,696	6,130
固定負債		
長期借入金	949	785
役員退職慰労引当金	326	365
退職給付に係る負債	379	530
その他	251	174
固定負債合計	1,907	1,855
負債合計	7,604	7,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,822	1,818
利益剰余金	6,166	6,445
自己株式	△45	△11
株主資本合計	9,779	10,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129	156
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	253	302
退職給付に係る調整累計額	71	57
その他の包括利益累計額合計	453	516
新株予約権	6	—
少数株主持分	2	2
純資産合計	10,241	10,606
負債純資産合計	17,845	18,592

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	10,253	12,785
売上原価	7,875	9,694
売上総利益	2,378	3,090
販売費及び一般管理費	2,051	2,366
営業利益	326	724
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	5	7
受取保険金	37	31
再生物売却収入	9	12
持分法による投資利益	50	15
為替差益	32	—
その他	14	14
営業外収益合計	152	85
営業外費用		
支払利息	12	10
為替差損	—	7
その他	0	1
営業外費用合計	12	19
経常利益	466	790
特別利益		
固定資産売却益	2	2
新株予約権戻入益	—	1
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	468	794
法人税、住民税及び事業税	122	241
法人税等調整額	42	50
法人税等合計	165	291
少数株主損益調整前四半期純利益	302	502
少数株主利益	0	0
四半期純利益	302	502



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	302	502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	27
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	45	37
退職給付に係る調整額	—	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	75	11
その他の包括利益合計	190	62
四半期包括利益	493	565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	492	565
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。